

名古屋市議員

久田くにひろ

名古屋市政報告 Vol.4 2020年 4月号

立憲民主 The Constitutional Democratic Press

若さ 情熱 行動力

令和2年度予算案を可決し、3月17日に2月定例会が終わりました。この1年間、皆様のお困りごと（道路、樹木、公園、学校、生活、住居、バス停）に寄り添い、ひとつひとつ前に進めていきました。また、会派内で最多の個人質問を行うなど、「誰も置き去りにしない社会」を目指して積極的に議会活動に取り組んでいます。来年度も、引き続き瑞穂区に暮らす皆様の生活が豊かになるよう、若さ・情熱・行動力で頑張ります！

プロフィール

昭和58年 12月31日生まれの36歳。瑞穂区生まれ。陽明小・汐路中・天白高を経て、青山学院大学経済学部卒業、名古屋大学大学院経済学研究科修了。不二家・京セラ（KDJ）で法人営業に従事。昨年の名古屋市議員選挙で初当選。都市消防委員会所属。

新型コロナウイルス感染症に関する名古屋民主市議団の取り組み

名古屋民主市議団として、市民の皆様への負担軽減のため、取り組みを進めています。

2月28日 「新型コロナウイルスへの対策に係る緊急要望」を河村市長に提出。

- ① 共働きやひとり親家庭等への各種支援策、高校・大学受験生への配慮。
- ② 特別支援学級等に通う子どもたち・保護者に動揺が広がらないよう配慮。
- ③ 中・小零細企業に対する十分な支援を早急に検討すること。

3月4日 本会議の会派代表質問において、「新型コロナウイルス感染症により打撃を受ける中小零細企業への支援策」について副市長にたずねました。

「本市では国や県の動向を踏まえつつ、中小企業の方の状況をしっかりと把握し、ご相談に訪れる中小企業の立場に立って日々刻々と変化する状況に応じ、スピード感をもってきめ細やかな対応を行っていく。」と述べました。

議員インターンシップに参加して

○参加者：中京大学2年Bさん、1年Iさん / 名城大学1年Tさん

2月・3月の大学の春休みを利用して、久田くにひろ名古屋市議員の下で視察や街頭活動といった普段の生活では得ることのない貴重な体験をしました。これは、自分たちの生活の中で、どのように市政が関わっているのかを知り、今後の活動の幅を広げるために議員インターンシップに参加しました。



○市議員の仕事を経験して感じたこと

Iさん SDGs(国連で合意した持続可能な開発目標)の報告会が印象に残っています。SDGsの掲げる17の目標や169のターゲットの中に、自分が住む地域での課題と共通するものがあり、SDGsは、国だけでなく自治体においても重要な内容であることを知りました。また、市議員の仕事は多種多様な事柄を勉強しなければならない仕事であることを認識しました。

Tさん スタートアップ企業支援施設NAGOYA INNOVATOR'S GARAGEの視察で、今ある課題を解決するだけでなく、未来をどう描くかを考えていくのも行政や政治の仕事であることを知りました。

Bさん 子ども食堂などの現場が求めていることと行政が進めている施策とが一致していないと感じ、その現場と行政との架け橋となり、現場での活動がしやすくなるように調整していくことも市議員の仕事であることを知りました。

街頭活動にて



スーパーや交差点の前で実施。市政報告や議員活動を市民の皆さんに伝えていました。

子ども食堂にて



子どもたちと作ったご飯やおやつと一緒に食べたり、ゲームをして遊びました。

座談会にて



ひとりひとりの市民の声を積極的に聞こうと、議員自ら開催。

料金別納郵便
久田くにひろ
区内特別郵便



LINE公式アカウント
目指せ登録者数1万人

名古屋市政等でお困りごとありましたら、ご相談下さい。「誰も置き去りにしない社会」を目指して、頑張ります。ホームページも随時更新。久田くにひろ で検索!!



久田くにひろ事務所

〒467-0007 名古屋市瑞穂区大殿町3-5 ドミール汐路 101号室
TEL 052-846-3460 FAX 052-846-3461 Email hisada.kunihiro92@gmail.com

立憲民主編集部
千代田区平河町2-12-4 ふじビル3F
TEL 03-6811-2301 FAX 03-6811-2302
本紙 第3金曜日発行
通常号 1部 200円 年間購読料 2000円

号外
瑞穂区版
Vol.4

令和2年度当初予算（瑞穂区版）

杉原千畝の銅像設置

杉原千畝「命のビザ」
発給80年事業で、瑞穂ヶ丘中学校にある
旧制第五中学校の遺構の近くに銅像を設置。



コミセンの建設

堀田学区コミセン(令和3年10月開設予定)、
中根学区コミセン(令和4年3月開設予定)の
建設が決定。



令和2年度 名古屋市当初予算		
一般会計	1兆2543億8000万円	0.4%増
・福祉や防災、教育など行政全般		
特別会計	1兆447億1651万円	5.0%増
・国民健康保険や介護保険など		
企業会計	4490億3756万円	0.1%増
・上下水道やバス、地下鉄など		
総額	2兆7481億3407万円	1.8%増
※1万円未満切り捨て、増減は19年度初比		



瑞穂公園再整備

2026年アジア競技大会に向けて
瑞穂公園を再整備。陸上競技場の立替えなどを含めた
瑞穂公園のマスタープランを本年6月に策定予定。
同年7月にPFI方式により民間事業者の募集開始予定。



市立大学病院の立体駐車場整備

市立大学病院近辺の渋滞解消を目的に、立体
駐車場を整備へ。現在の駐車台数377から
約500に拡大予定。令和2年度工事開始、
令和4年度供用開始予定。

都市消防委員会での予算審議

住宅都市局 (久田くにひろ発言)

まちづくりについては、地域と一体となって取組みを進めるとともに、
新たな路面公共交通システム(SRT構想)の展開も視野に回遊性向上策
を検討すること。SDGs達成に向けて取組む地域のまちづくりにおいても
支援をしていくこと。



防災危機管理局 (久田くにひろ発言)

災害用食料等の備蓄について、飲料水は、命を守る上で大切なものであることから、指定避難
場所における更なる備蓄を含め、関係局とも連携し、応急給水体制を迅速に確保すること。
今後の人口減少や災害発生の頻発化などを見据え、複合災害等の不測の事態にどう対応
していくのか、適正な人員の確保も含め、名古屋都市センター等と連携・協力して研究すること。

消防局 (久田くにひろ発言)

戸別訪問による防災用品を活用した地域防災力向上促進事業については、家具の転倒
防止対策が確実になされるよう、より踏み込んだ事業推進を行うとともに、合わせて
様々な防災に係る啓発を実施し、地域全体の防災意識が高まるよう努めること。

※来年度、瑞穂区では2学区で実施予定。

消防団員の定年制の施行を迎え、消防団員の確保については、従来からの入団促進策
を継続するのみならず、消防団員にやりがいを感じてもらおうよう、消防団員活動に
ついて、引き続き拡充を図ること。また、増加傾向にある女性消防団員についても、
更なる増加が見込めるよう、女性が活動しやすい環境の整備を進めること。

久田くにひろの取組みで令和2年度に予算計上

学校生活介助アシスタントの
派遣時間拡大

介助が必要な障がいのある幼児児童生徒
に対して、学校生活における支援を行う
事業で、派遣時間を、年間75,600
時間から107,975時間に拡大。

居住支援コーディネーター(仮称)
を設置

民間賃貸住宅を活用した住宅セーフティネット
機能の強化を図るため、新たに設置。
民間賃貸住宅入居相談の実施、福祉関係者
等の連絡調整の役割を担う。

※なごや環境大学SDGs未来創造クラブの新規設立なども予算計上。

■市政・県政報告会【立憲カフェ in 瑞穂】を開催します。

- 開催日時 令和2年 4月18日[土]
13時半から15時
- 開催場所 カフェ ブランチ
瑞穂区豊岡通2-40
瑞穂運動場西駅すぐ
- 会費 200円
- 弁士 高木ひろし愛知県議会議員
久田くにひろ名古屋市議員



皆様と語り合う場になりたいと思います。
感染防止対策の上、参加をお願いします。